



**DH SYSTEM**  
大日本塗料株式会社

商品番号 1871

# エポニックス#3100レッドプライマー

1. 一般名 エポキシ樹脂下塗塗料  
 2. 規格 社内規格  
 3. 特徴 1) すぐれた防食性と鉄面に対する付着性を有する。  
 2) 耐薬品性、耐水性、耐塩水性がすぐれている。

## 4. 塗料性状

項目		内容			
容姿		2液性			
荷姿		16kg $\times$ 2(主剤:11.2kg、硬化剤:4.8kg)			
色相		さび色			
光沢		つや消し			
密度 (23℃)	塗料	1.27			
	揮発分	0.85			
粘度(23℃)		73KU			
加熱残分		63%			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	指触	3時間	1時間	30分	20分
	半硬化	24時間	8時間	4時間	2時間
標準膜厚		30 $\mu$ m			
引火点		SDS参照			
発火点		SDS参照			
爆発限界(下限~上限)		SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

## 5. 塗装基準

項目		内容			
下地処理		ブラスト ISO-Sa2 $\frac{1}{2}$ (SSPC-SP10)			
調合法		主剤:70部、硬化剤:30部(重量比)			
熟成時間		約30分間放置			
可使時間	5℃	20℃	30℃	40℃	
	48時間	24時間	12時間	4時間	
使用シンナー		エポニックスシンナーA			
塗 装 法	塗装方法	刷毛塗り		エアレス塗装	
	希釈率	0~3%		0~5%	
	標準使用量	0.11 kg/m $^2$		0.15 kg/m $^2$	
	標準膜厚	30 $\mu$ m		30 $\mu$ m	
エアレス塗装条件	1次圧	0.4MPa(4 kg/cm $^2$ )以上			
	2次圧	12MPa(120 kg/cm $^2$ )以上			
		チップNo.163-515~617			
塗 装 間 隔	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	最小	24時間	12時間	8時間	6時間
	最大	14日	7日	7日	5日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

## 6. 施工上の注意

- 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 余り塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので、必ず規定範囲内で塗り重ねること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウェスにて清掃してから塗装すること。
- 希釈には必ずエポニックスシンナーAを使用すること。
- 塗装終了後の使用機器は直ちにエポニックスシンナーAで洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。
- 気温が10℃以下では、塗料の乾燥が遅れるので、塗装間隔は十分注意のこと。

## 7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

## 8. 使用上の注意【警告】

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。